

週間漁海況情報 2022年第5号

令和4年2月1日発行

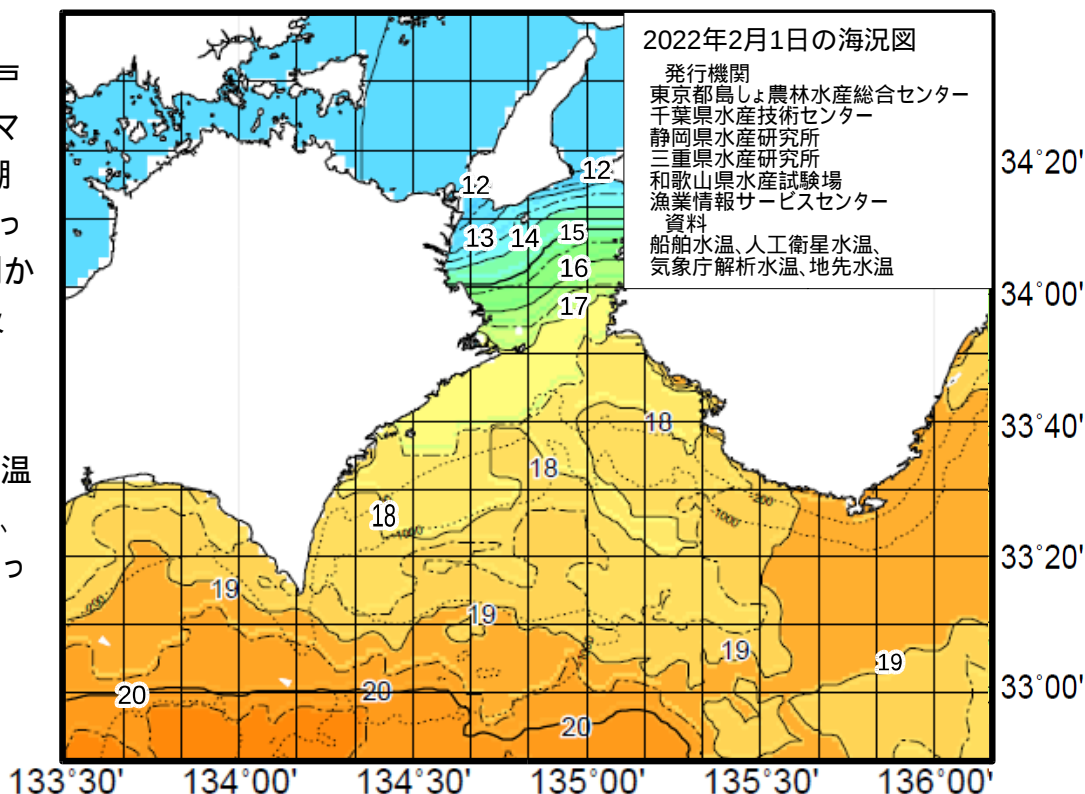
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖121マイル、潮岬沖125マイル以上を流れ、室戸岬、潮岬沖ともに「著しく離岸」となっている。このため、室戸岬側からの海部沿岸への暖水波及は弱まっている。

黒潮の表面水温は20～21台。徳島周辺海域の表面水温は、紀伊水道が12～17台、海部沿岸が17～18台となっている。



黒潮の離接岸の表現

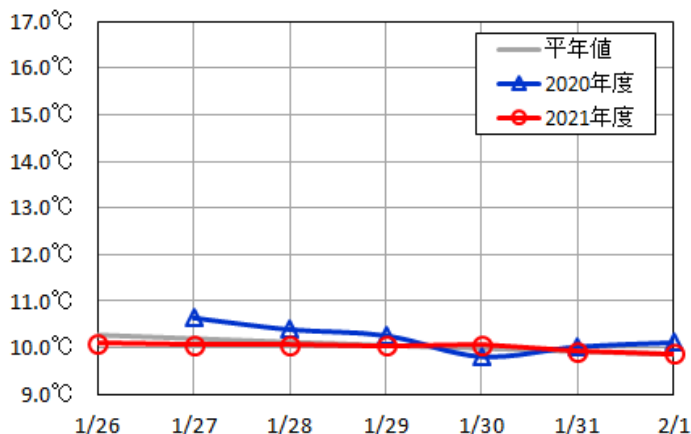
(いずれも正南方向)
室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～
図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

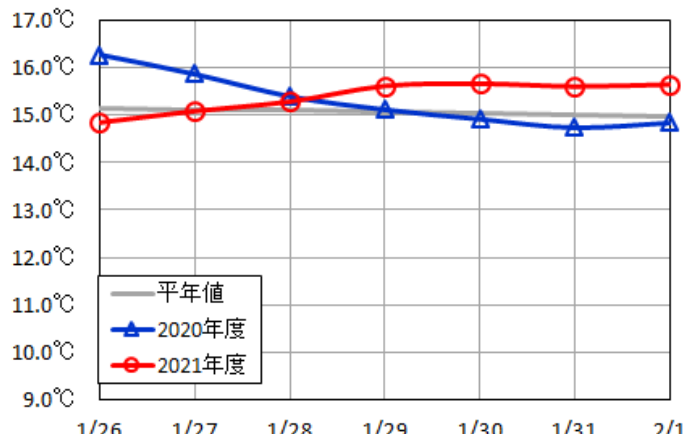
2. 地先水温(1月26日～2月1日)

鳴門地区の水温は9.7～10.6 で「平年並み」、日和佐地区は14.9～15.7 で「平年並み」から「やや高め」に推移した。鳴門と日和佐地区の水温差は4.8～5.8 となった。

鳴門地区



日和佐地区



水温の高低 平年並み：平年値±0.5 未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5 以上1.5 未満
高め/低め：平年値±1.5 以上2.5 未満、かなり高め/かなり低め：±2.5 以上
平年値 1984年～2018年の平滑平均値

3. 週間予報(2月2日～2月8日)

黒潮は、室戸岬、潮岬沖ともに「著しく離岸」傾向で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区は「平年並み」、日和佐地区は「やや高め」から「平年並み」に推移する見込み。

漁況 (1月24日～1月30日)

1. 紀伊水道 (標本漁協: 4)

延縄では、ブリがめじろ級主体に1トﾝ、サワラが増えて大主体に0.5トﾝ水揚げされた。
 建網では、メジナが大きく増えて0.4トﾝ、タカノハダイが大きく増えて0.3トﾝ水揚げされた。
 小型定置網では、マアジが減って0.4トﾝ、マダイが増えて0.3トﾝ、ボラが大きく増えて大主体に0.3トﾝ、ブリがめじろ級主体に0.2トﾝ水揚げされた。
 底びき網では、シリヤケイカが大きく増えて3トﾝ、コウイカが大きく減って大主体に0.7トﾝ、えそ類が0.4トﾝ、マダイが大主体に0.2トﾝ、ホウボウが大きく増えて大主体に0.2トﾝ、サワラが大きく増えて大主体に0.2トﾝ水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協: 4)

釣りでは、カツオが増えて特大主体に1.9トﾝ、タチウオが大きく減って1.3トﾝ、ブリが増えてめじろ級主体に1.3トﾝ水揚げされた。
 延縄では、ブリが大きく減ってめじろ級主体に0.2トﾝ水揚げされた。
 小型定置網では、マアジが増えて豆あじ主体に0.2トﾝ水揚げされた。
 大型定置網では、マアジが大きく増えて豆あじ主体に0.9トﾝ、シイラが大きく増えて小主体に0.2トﾝ水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.2トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	1日1隻あたり (kg)	銘柄	前週比
紀伊水道	延縄	24	ブリ	1,047	44	めじろ級主体	→
		25	サワラ	482	19	大主体	
	建網	28	メジナ	415	15		
		30	タカノハダイ	326	11		
	小型定置網	15	マアジ	384	26		
		11	マダイ	345	31		
		8	ボラ	322	40	大主体	
		11	ブリ	239	22	めじろ級主体	→
	底びき網	49	シリヤケイカ	3,044	62		
		48	コウイカ	668	14	大主体	
		41	えそ類	395	10		→
		30	マダイ	238	8	大主体	→
44		ホウボウ	228	5	大主体		
29		サワラ	212	7	大主体		
海部沿岸	釣り	47	カツオ	1,869	40	特大主体	
		18	タチウオ	1,346	75		
		29	ブリ	1,254	43	めじろ級主体	
	延縄	4	ブリ	215	54	めじろ級主体	
	小型定置網	8	マアジ	247	31	豆あじ主体	
	大型定置網	5	マアジ	943	189	豆あじ主体	
		5	シイラ	211	42	小主体	

前週比 200%以上: 120-200%: 80-120%: 50-80%: 50%未満: